

# 衆議院文部科学委員会ニュース

【第201回国会】令和2年3月11日（水）、第3回の委員会が開かれました。

1 本日で東日本大震災から9年を迎えるに当たり、亡くなられた方々に対し、黙祷をささげました。

2 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・萩生田文部科学大臣、橋本國務大臣（東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- （質疑者）村上史好君（立国社）、菊田真紀子君（立国社）、吉良州司君（立国社）、牧義夫君（立国社）、山本和嘉子君（立国社）

（質疑者及び主な質疑事項）

村上史好君（立国社）

- （1） 学校法人加計学園が新設した獣医学部の推薦入試における不正疑惑
  - ア 文部科学省による調査結果
  - イ 韓国人受験生の面接における点数が0点であった理由
  - ウ 同受験生の筆記試験結果
  - エ 岡山理科大学からの報告聴取にとどまらず、文部科学省として調査を実施する必要性及び同調査実施に向けた萩生田文部科学大臣の決意
  - オ 同学部への「四国入学枠」による入学者数が低迷している現状に対する文部科学省の見解
- （2） 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に対する新型コロナウイルス感染症の影響
  - ア 大会に参加する国・地域が事前合宿を実施する時期
  - イ ホストタウンの登録数、自治体数及び相手国・地域数
  - ウ 新型コロナウイルス感染症の影響による事前合宿の延期等の有無
  - エ 事前合宿の延期等による大会への影響
- （3） 萩生田文部科学大臣のマカオにおけるカジノ関係者からの特別待遇疑惑報道
  - ア 萩生田文部科学大臣がギャラクシーエンタテインメントジャパン株式会社の最高執行責任者及び総支配人の出迎えを受けた事実の有無
  - イ 同社の最高執行責任者及び総支配人との面識の有無
  - ウ カジノ関係者の出迎えがあった事実に鑑み、私的旅行ではなかったのではないかと指摘に対する萩生田文部科学大臣の見解
  - エ 疑念を持たれることのないよう、関係事業者との適切な距離感に留意する必要性
- （4） ギャンブル依存症対策に係る教育上の取組はIR担当部局ではなく教育委員会等が主導する必要性
- （5） 新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休業中の学校の再開を判断するための目安は、専門家会議の検討を踏まえて決定する必要性

菊田真紀子君（立国社）

- （1） 学校法人加計学園が新設した獣医学部の推薦入試における韓国人受験生の取扱いについて、文部科学省として調査を実施する必要性
- （2） 新型コロナウイルス感染症対策のための小・中・高等学校等の一斉臨時休業の要請
  - ア 一斉臨時休業の要請期間の延長見込み
  - イ 学校の再開を判断するための目安を示す時期及び検討状況
  - ウ 一斉臨時休業の要請に係る検討を行った会議体の確認
  - エ 同会議における文部科学省の配付資料や同省からの出席者の発言メモの有無

- オ 安倍内閣総理大臣による一斉臨時休業の要請の表明
  - a 文部科学省の地方公共団体等に対する通知の発出が同表明の当日ではなく翌日であったことの妥当性
  - b 同表明の当日中に、文部科学省が臨時休業の期間等については各学校の設置者の判断を尊重する等の説明を行わなかった理由
- カ 18歳以下の感染者数及び全体の感染者数に占める割合
- キ 一斉臨時休業の要請と18歳以下の感染者の割合が低いこととの因果関係の有無
- ク 臨時休業中の特別支援学校における児童生徒の受入れ状況及び文部科学省が同状況を把握した上で受入れを行う学校に対して支援する必要性
- ケ 臨時休業中における学校の校庭や体育館の活用状況及び地方公共団体による小学生の運動不足解消に係る取組事例
- コ 中学生・高校生向けに部活動の実施や公立の図書館・スポーツ施設の開放に係る指針を示す必要性
- サ 虐待等の複雑な家庭事情を抱える子供の健康や安全を守るための方策
- (3) 韓国における新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた感染症危険情報のレベルの引上げに伴う留学中の日本人学生への影響
  - ア 国の海外留学支援制度を利用し韓国に留学中の日本人学生の帰国状況
  - イ 韓国に残る日本人学生への日本学生支援機構の奨学金の支給状況
- (4) 科学的・医学的根拠がない中で、政治判断で新型コロナウイルス感染症の対策を進めることに対する萩生田文部科学大臣の見解

#### 吉良州司君（立国社）

- (1) 海外の日本人学校に対する教員の派遣
  - ア 派遣教員の帰国後の自己及び他者評価
  - イ 教員を派遣する意義及び課題
  - ウ 派遣教員の経験を帰国後の教育現場において活用するための方策
  - エ 教職課程の教育実習先として日本人学校を選択できるようにする必要性
- (2) 子供が科学技術に興味関心を持つよう、義務教育段階に「宇宙週間」を創設すべきとの意見に対する萩生田文部科学大臣の見解
- (3) 子供が英語に苦手意識を持つことのないよう、小学校における英語教育は英語に親しむことを目的として実施する必要性
- (4) 公立小・中学校における教員不足
  - ア 現状及び背景
  - イ 教員不足に係る地方公共団体の財政上の問題を解消するため、地方交付税措置を充実させるべきとの意見に対する萩生田文部科学大臣の見解

#### 牧義夫君（立国社）

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のための小・中・高等学校等の一斉臨時休業の要請
  - ア 要請の法的根拠
  - イ 一斉臨時休業を要請した安倍内閣総理大臣の責任に対する萩生田文部科学大臣の認識
  - ウ 従業員の給与補償を含めた学校給食の調理業務を受託している民間企業に対する国の補償の在り方
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に対する新型コロナウイルス感染症の影響
  - ア 大会の開催可否に対する橋本内閣総理大臣の見解

- イ 大会の開催可否が最終的に判断される時期
- ウ 大会組織委員会の理事が大会の延期を示唆したとの報道等を踏まえた大会の開催可否に対する橋本国土大臣の見解
- (3) 国立大学の授業料自由化は授業料の値上げにつながる懸念があり、高等教育の修学支援新制度に逆行するとの意見に対する萩生田文部科学大臣の見解
- (4) 公金の使途としての適正性及び職業選択の自由の観点からの地方自治体や地元産業界による奨学金返還支援制度の是非
- (5) 各大学が作成する入学者選抜試験の問題に著作権使用料を設定し、過去問題集を販売・利用する受験産業から大学に還元する制度を検討する必要性
- (6) 大学入学者選抜におけるJAPAN e-Portfolioを用いた主体性評価
  - ア 大学入学者選抜において主体性評価を活用する意味
  - イ 主体性を評価することによって生徒の自由な活動が制約される懸念

#### 山本和嘉子君（立国社）

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のための小・中・高等学校等の一斉臨時休業の要請
  - ア 学校の臨時休業に伴う児童生徒の生活リズムの乱れ等に対する取組
  - イ 臨時休業の法令上の位置付け
  - ウ 臨時休業中における児童生徒の見守り等教職員に求められる役割
  - エ 家庭環境に虐待等の問題を抱える児童生徒への対応
  - オ 放課後児童クラブにおける感染症対策についての厚生労働省の取組
  - カ 学校の再開を判断するための目安を明確化する必要性
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策のための全国的なスポーツ・文化イベントの自粛要請
  - ア 自粛を要請する期間等に関し明確な指標を示す必要性
  - イ 中止や延期による主催者等の損失を補償するための経済的な措置を検討する必要性
- (3) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け我が国における感染症対策を国際オリンピック委員会（IOC）に積極的に情報提供する必要性
- (4) 教職員の勤務時間を客観的に把握していない教育委員会への対応